

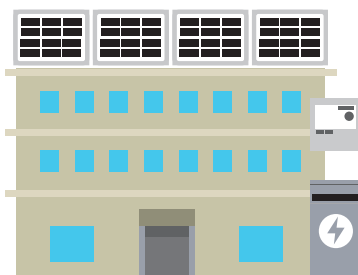
導入事例(公共施設) ～宮城県 美里町様～

美里町地球温暖化対策実行計画を推進し、増加する自然災害に対する電源確保を行う。

そのために、環境省の補助金(公共施設の防災減災・低炭素化自立分散型エネルギー設備等導入推進事業)を活用し、避難所となる町営施設に、再生可能エネルギー設備(太陽光発電設備・蓄電池)を導入する。

平常時：自家消費をすることで温室効果ガスの排出を抑制
災害時：避難施設で電力供給等ができる

- ・太陽電池モジュール
- ・架台



モニター
(データ可視化)

蓄電システム
(蓄電+EMS)

X-3[®] 陸屋根専用置き基礎架台

最も厳しい耐震クラスSランク基準を満たす陸屋根専用架台。自家消費比率を高めるために効率よく設置し、設置容量が最大となるように配置検討しました。

エネマン(蓄電池)

太陽光などで発電した電気を蓄電し、デマンド電力データなどを収集し可視化。効率的に電力をコントロールする自家消費システムです。

美里町の町営施設 3 か所に太陽光発電+蓄電池を導入

健康福祉センターさるびあ館様



出力容量 : 38.4kW
蓄電池容量 : 32kWh

駅東地域交流センター様



出力容量 : 38.4kW
蓄電池容量 : 32kWh

美里町中央コミュニティー様



出力容量 : 36.8kW
蓄電池容量 : 32kWh

エクソルの陸屋根専用置き基礎架台X-3が施設で採用されました

美里町様

公募型プロポーザルで採択

コンサル会社・施工会社の共同企業体

↓
町営施設 3 か所



エクソルモジュール



陸屋根専用置き基礎架台



工事請負(下請)